

# 会発表会連合会保存能芸

1月8日、東通村体育館を会場に第51回東通村郷土芸能保存連合会発表会が開催されました。

発表会は目名神楽会による「平獅子」で始まり、11の団体が計12演目を演じ、村に脈々と受け継がれてきた伝統の舞が披露されました。

会場には、村内外から約300名の方々が訪れ、東通村の誇る郷土芸能に見入っていました。また、カメラやビデオを持参し、舞をカメラに収めようとする方も多く見られました。

口上の席で越善和彦会長は、「それぞれの地域で、師匠・先代の方々から、脈々と受け継がれてきた、この伝統芸能を絶やすことがないよう日々、伝承活動に邁進してまいりました。東通村の貴重な芸能のすばらしさを、肌で感じていただき、皆様方の悪魔退散・家内安全を祈願し奉納致します」と感謝を述べました。



## 小正月の伝統行事～田植え餅つき踊り～

1月15日から16日、村内各地で「田植えもちつき踊り」が行われました。

田植えもちつき踊りは、各地区の婦人会を中心に伝承されているもので、小正月の伝統行事として披露されます。艶やかな衣装に身を包んだ女性たちが集落内を門付けして回り、今年一年間の豊作と家内安全を祈願しました。

当日は、県内外から多くの観光客やカメラマンが各集落を訪れ、踊りの様子を撮影する姿が見られました。